

## 座長企画型セッション 企画書

テーマ名：沿岸防災施設のアセットマネジメント

座長：横田弘（沿岸防災施設のアセットマネジメント研究小委員会委員長）

我が国では、昭和 30 年代の高潮・津波災害を契機として整備された海岸保全施設等の沿岸防災施設が多く、近年、施設の老朽化による劣化や変状が急増している。このような施設の防護機能を発揮させ続けるためには、適切な維持管理を行う必要がある。一方で、公共事業費の削減が進められる中、沿岸防災施設を含む社会基盤施設の維持管理費用の一層の削減は喫緊の検討課題である。この解決策の 1 つとして、アセットマネジメントなどの資産管理の考え方を社会基盤施設の維持管理に導入することが有効であると考えられている。

このような背景を踏まえ、海洋開発委員会では、平成 19 年度に「沿岸防災施設のアセットマネジメント研究小委員会」を設立し、災害時の人命や資産に対するリスク軽減のための防護機能に着目して、沿岸防災施設を管理するために必要となる要素技術について検討を行うとともに、今後の施設管理のあり方に関して包括的な提言を行うため、議論を進めている。

沿岸防災施設のアセットマネジメント研究小委員会では、昨年、海洋開発シンポジウムにて「沿岸防災施設のアセットマネジメント」と題して座長企画型セッションを実施し、活発かつ有意義な議論を行った。今年も昨年に引き続き、下記の 3 つのテーマに関する論文を募集し、施設の老朽化の現状と維持管理における性能評価の観点から、議論する機会を提供するものである。

- ( 1 ) 施設の点検や健全度評価
- ( 2 ) 変状の発生・進行と防護機能（性能）( 含、補修等の対策 )
- ( 3 ) 維持管理段階で考慮すべき外力（作用）( 含、被害予測 )